



SEKISUI HOUSE



BUSINESS REPORT

第 68 期 中間報告書 2018.2.1 >>> 2018.7.31

積水ハウス株式会社

証券コード：1928



環境大臣認定

エコ・ファースト企業

業界初の「エコ・ファースト企業」として環境大臣より認定を受けました。

積水ハウスが先導 住宅の ネット・ゼロ・エネルギー化

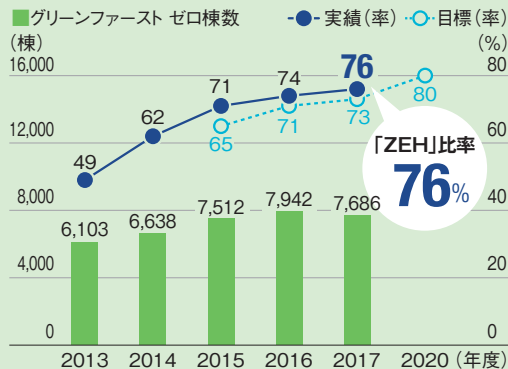
政府が進めるZEH化の流れを牽引

「グリーンファースト ゼロ」の普及促進

家庭で消費するエネルギーを高断熱仕様や省エネ設備で削減し、太陽光発電や燃料電池による創エネで相殺することで、エネルギー収支ゼロを実現するネット・ゼロ・エネルギー・ハウス＝「ZEH」。政府が2020年までにハウスメーカー等が新築する注文戸建住宅の半数以上をZEHとする方針を打ち出す中、その普及を積水ハウスが先導しています。

2013年4月、他社に先駆けて販売を開始した「グリーンファースト ゼロ」は、大きく開放的な窓が象徴する快適性を保持しながら、高度な省エネ・創エネ性能で戸建住宅をZEH化。お客様の高い評価を得て、2017年度の新築戸建住宅のZEH比率は76%まで上昇しました。

「グリーンファースト ゼロ」の進捗状況



「グリーンファースト ゼロ」の概要

高い断熱性と省エネ設備に加え、太陽光発電システムなど先進の創エネ設備により、エネルギー収支「ゼロ」を目指します。

① 省エネ

消費エネルギーを減らす

① 省エネ 高断熱仕様

① HEMS
エネルギー制御、暮らしサポート

① 省エネ 設備機器 (空調・照明など)

EV-PHV

EVコンセント

高耐震+制震・免震システム

温水床暖房

空気環境配慮仕様

蓄電池

② 創エネ

エネルギーを創る

② 創エネ 太陽電池

② 創エネ 燃料電池
エネファーム

① 消費エネルギー

② 創エネルギー

≡ エネルギー収支0(ゼロ)

戸建から賃貸住宅や分譲マンションへ 集合住宅にもZEHを拡大



積水ハウスが推進するZEH普及の流れは、戸建住宅から集合住宅へと展開し、供給を拡大しています。2018年1月には、全戸でZEH基準を満たす3階建て賃貸住宅シャーメゾン「ZEH21」が石川県金沢市に竣工、全国初・業界初となりました。続いて、全12戸でZEH基準を満たす分譲マンション「グランドメゾン覚王山菊坂町」を愛知県名古屋市に建設。2019年2月の竣工予定です。



2018年「SBTイニシアチブ」認定取得

「パリ協定2℃目標」の達成に根拠のある温室効果ガス削減目標を設定

2017年「RE100」に加盟

事業活動で使用する電力を2040年までに100%再生可能エネルギーにすることを宣言

2015年 パリ協定遵守宣言

2030年までに既存住宅も含む住まいからのCO₂排出を40%削減

2015年 COP21において グローバルアライアンスに加盟

建物と建設分野におけるグローバルアライアンスに世界70機関参加、日本での加盟機関は東京都と積水ハウスのみ

政府の2020年ZEH標準を受け

2013年「グリーンファースト ゼロ」を発売

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)

2050年ビジョンを受けて

2009年 「グリーンファースト」を発売

CO₂ 50%以上削減

1999 2000

1999年 環境未来計画

環境を経営の基軸とする

2008年「2050年ビジョン」発表

2050年までに住まいをライフサイクルCO₂ゼロにする“脱炭素”宣言

積水ハウスがZEHを提案する理由

2050年の脱炭素社会へ

地球温暖化の要因となっているCO₂は、家庭部門からの排出量が全体の約16%を占め、その削減に向けて住宅メーカーの果たすべき役割は大きいと言えます。積水ハウスは、住まいからのCO₂排出ゼロを目指す「2050年ビジョン」を2008年に宣言し、「脱炭素」経営に向けていち早く舵を切りました。

住む人の幸せな人生を支え、持続可能な社会を実現する住まいづくり。それが積水ハウスによるZEHの提案です。

2030年目標

製品として提供する住宅の使用で消費されるエネルギーや電力によるCO₂を2013年比で45%削減、自社での消費によるCO₂を同35%削減(「SBTイニシアチブ」により認定された削減目標)。事業活動で消費する電力の50%を再生可能エネルギーで賄います(「RE100」に対し宣言した中間目標)。

2050年チャレンジ目標

住宅という製品について、材料購入から生産、販売、居住、解体までのライフサイクル全体において、再生可能エネルギーの利用も含め、CO₂排出量をゼロにします。



代表取締役社長
仲井 嘉浩

代表取締役会長
阿部 俊則

2020年以降を視野に入れた、 新たな成長基盤の構築へ、 着実に前進しています。

バランスよく成長する各ビジネスモデル。 根幹を支える戸建住宅を再強化します。

2017年度から3年計画でスタートした「第4次中期経営計画」が、2年目を迎えています。“住”に特化した成長戦略の展開から「事業創出」へ。基本方針は「BEYOND2020に向けた“住”関連ビジネスの基盤づくり」です。積水ハウス創立60周年という私たちにとって大きな節目となる2020年、それ以降の事業展開を見据えた意欲的な成長戦略を推進しています。

現在、「請負型」「ストック型」「開発型」「国際」の各ビジネスモデルが安定したバランスで成長しています。しかし、住宅産業を取り巻く環境は、日々、めまぐるしく変化しています。住まいづくりに対するお客様のご要望、社会の要請も、高度化、多様化する一方です。求められるのは、スピード感のある的確な対応。積水ハウスは、新経営陣による時代に即応した組織改革、また、2020年以降への確かな布石となる新機軸の提示など、多角的な視点から新たな施策を打ち出し、それぞれの領域で着実に進行させています。

コア事業である「請負型ビジネス」に関しては、「戸建住宅事業の再強化」を重点課題に据えました。私たちの強み



を再確認し、より強くする。技術力・設計力・施工力を背景にしたシェア拡大は、増大する良質な住宅への建替え需要への対応を含め、まだまだ可能性に満ちています。その推進策として、戸

建住宅事業と賃貸住宅事業系の組織改編を実施しました。営業人員の専門性強化という当初目的の実現に加え、戸建住宅、賃貸住宅それぞれの課題に対する、迅速な対応、重複業務の解消など、事業の効率化につながるという成果があがっています。賃貸住宅は都市部に軸足を置いた市場分析、エリアマーケティングの徹底により、さらなる深掘りに手応えを感じています。3・4階建ての「フレキシブルβシステム」は設計の自由度・空間提案力を大きく高めた新構法であり、工場出荷材使用による価格競争力はもちろん、短工期という優位性から、保育園や医療施設、商業施設、インバウンド需要に対応するホテルなど「非住宅分野」でも期待を上回る支持を得ています。

資本コストを強く意識した事業展開。 「新機軸」も動き出しました。

「ストック型ビジネス」のリフォーム事業は、従来の補修改修といったメンテナンス型から大型リノベーションなどの提案型にシフトしていくことで、個別案件への対応力を高める設計営業強化策が軌道に乗り始めました。人材育成をはじ

め、幅広い発想から一層の事業拡大を目指します。賃貸住宅管理を核とする不動産フィー事業は、積和不動産との連携を密にしながら、多岐にわたる業務をITの有効活用によって効率化。利益率の向上に結びついています。「開発型ビジネス」は、成長投資と資産回転率のバランスを重視し、環境技術の採用など積水ハウスの強みを活かした展開で、“住”関連ビジネス拡大の一翼を担う事業として着実に成長させる戦略です。

そして、海外での本格的な開発事業着手から8年、「国際ビジネス」は新たな成長へのステージに進んでいます。今後はこれまでの実績をベースに、物件管理などの「ストック型ビジネス」にも注力します。目標とするのは国内同様、海外における「請負型」「ストック型」「開発型」のバランスよい成長です。そのためには、現地企業とのパートナーシップをこれまで以上に重視する必要があります。経営トップ自ら先頭に立って現地へ赴き、人的にも、組織面でも、信頼、協調基盤の強化を進めています。開発プロジェクトの推進に関しては、資本コストをより強く意識した事業展開を行うということも強調させていただきます。

2020年以降、次の中期経営計画につながる新機軸に関する取り組みが次々と動き出しています。キーワードは「NEXT積水ハウス」。戸建住宅のIoT化を含め、ハード面からソフト面まで、住まい手がかつともっと幸せになれる住まいづくりを考え、具体的な商品を作り上げる体制を構築しています。8月には「住生活研究所」を設置し、生涯住宅思想に基づく安全・安心・快適といった積水ハウスが長年向き合ってきた課題

に加え、「健康」「家族のつながり」などの「幸福感」を追求します。例えば、キッチンやクローゼットの配置等、これまで商品提案に結び付けてきた要素を集約し、住まいにおける幸せを科学的・理論的に明らかにしていきます。

そして、デジタルマーケティングの強化。マスメディアを使った従来の広告宣伝とは異なる手法で、集客というお客様との接点づくり、継続したデジタル・コミュニケーションを深化させていきます。情報発信、イメージ形成だけでなく、お客様にしっかりと寄り添うカタチで、丁寧に、効率的に、積水ハウスのファンを広げてまいります。

あらゆる意味で「グッドカンパニー」へ。 「ガバナンス改革」も断行します。

取締役会の機能強化など、不退職の決意で推し進めている「ガバナンス改革」は、常に、点検、自己評価を繰り返しながら、徹底してその体現に邁進します。新たに設置した経営会議では、これまで以上に自由闊達、全員参加という積水

ハウスが本来持っている企業風土を体現する活発な議論が行われています。経営に携わるものから襟を正し、改革マインドを積水ハウスグループの隅々にまで浸透させ、さらには積水ハウス会、協力工事店等の皆様にも共有していただく。「道徳的・

倫理的な意味での完全な姿」である「Integrity（インテグリティ）」という言葉、その意味するところを企業活動のすべてにおいて最優先させていく考えです。

「働き方改革」においては、男性も子育てができる環境づくりを後押しする「男性社員1ヵ月以上の育児休業完全取得」宣言を行いました。また、女性活躍推進に優れた企業「なでしこ銘柄2018」に住宅・建設業界では唯一、5度目の選定を受けています。しかし重要なことは、個別の施策、評価に満足するのではなく、積水ハウスがあらゆる角度から見て、お客様、社員、株主様等全てのステークホルダーを大切にすること。「グッドカンパニー」になることです。「働き方改革」はその一部であり、私たちが掲げているテーマ「わくわくドキドキ 心躍る職場づくり」も制度や数字で実現できるものではありません。環境・社会性・ガバナンスを重視するESG経営についても同じことがいえます。総合的な観点からの理解、実践に努めてまいります。

BEYOND2020。この先、2020年以降は、社会も、事業環境も、大きな変化が予測されます。積水ハウスは、新たな成長への基盤づくりに邁進します。そしてその中核となるのは、積水ハウスが近年、力を入れてきた「損益分岐点経営」「グループ連携」「中高級路線」です。第1次中期経営計画から成長の柱になっているこの3つの指針は、一貫して堅持し、徹底していくことを株主の皆様にお約束させていただきます。

積水ハウスは、大胆な改革を進めながら前進し、新たな歴史を切り開きます。引き続き変わらないご支援をよろしくお願いたします。



連結決算ハイライト

売上高

10,026 億円

前年同期比 △0.7%

請負型、国際ビジネスの減少をストック型、開発型ビジネスの伸長でカバーした結果、売上高は前年同期と横ばいの1兆26億円となりました。

営業利益

786 億円

前年同期比 △11.6%

戸建住宅、賃貸住宅等の請負型ビジネスの減益に伴い、営業利益は11.6%減の786億円となりました。

経常利益

825 億円

前年同期比 △12.4%

持分法投資利益43億円の計上等により、経常利益は825億円となりました。

親会社株主に 帰属する四半期純利益

578 億円

前年同期比 △3.9%

当期純利益は3.9%減少の578億円。EPSは83.82円となりました。

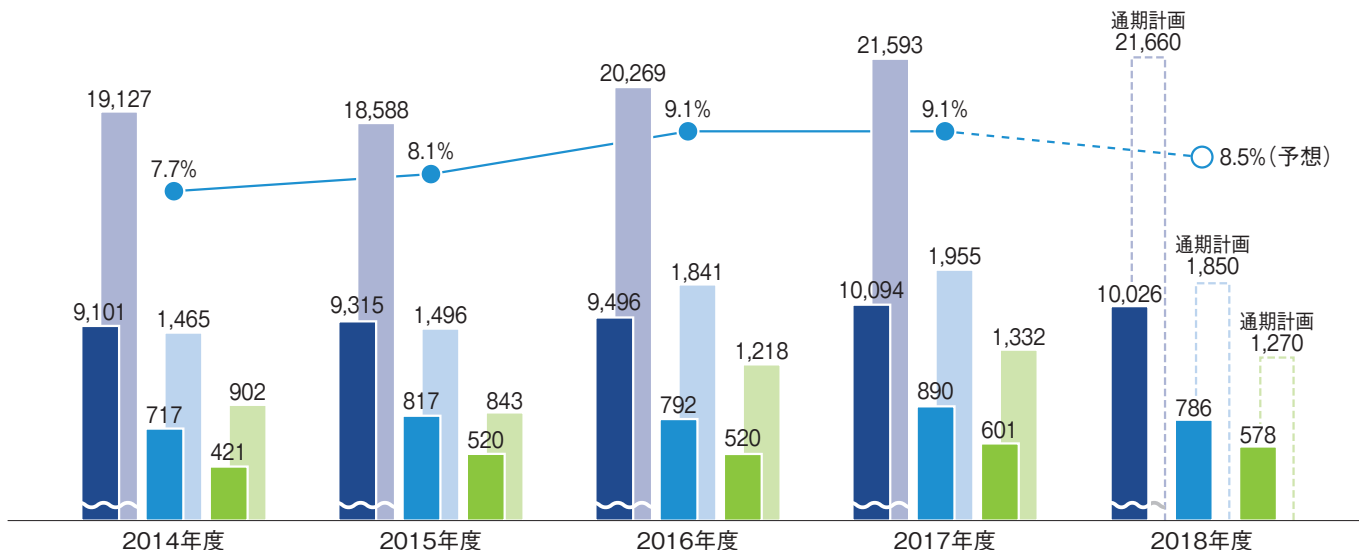
累積建築戸数^(戸)

240万 3,963 戸

累積建築戸数は22,326戸増え、240万戸を突破しました。

売上高 (■第2四半期 ■通期) 営業利益 (■第2四半期 ■通期) 当期純利益 (■第2四半期 ■通期)
●- 営業利益率 (通期)

(単位: 億円)

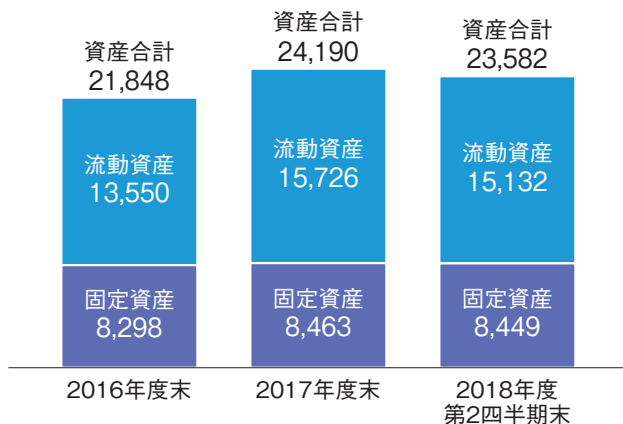


連結決算ハイライト

貸借対照表

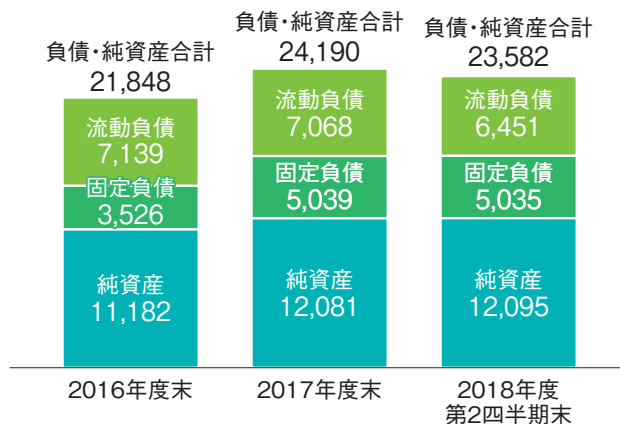
資産の部

(単位:億円)



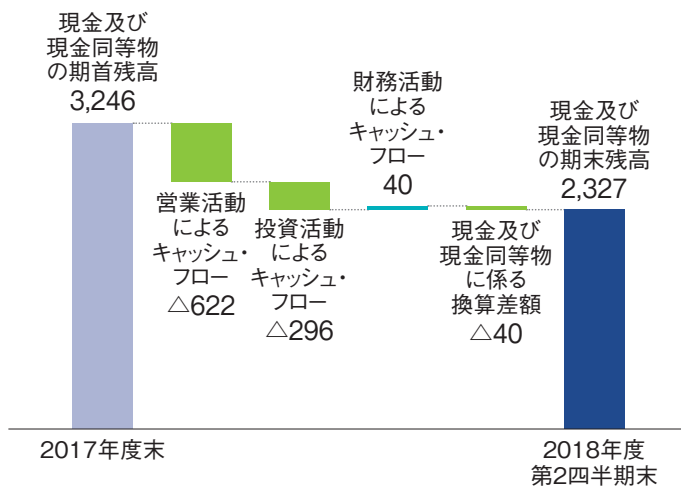
負債・純資産の部

(単位:億円)



キャッシュ・フロー

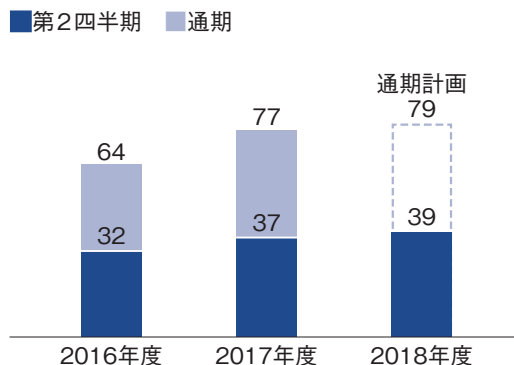
(単位:億円)



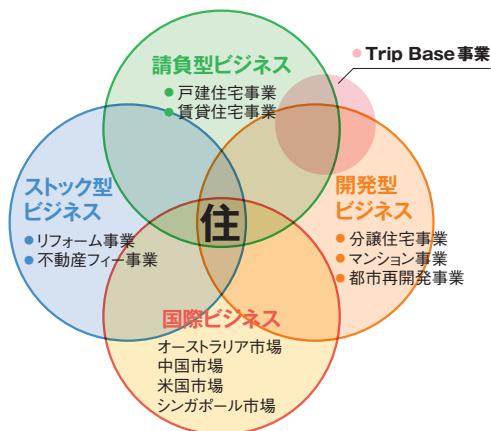
1株当たり配当金

79.00円

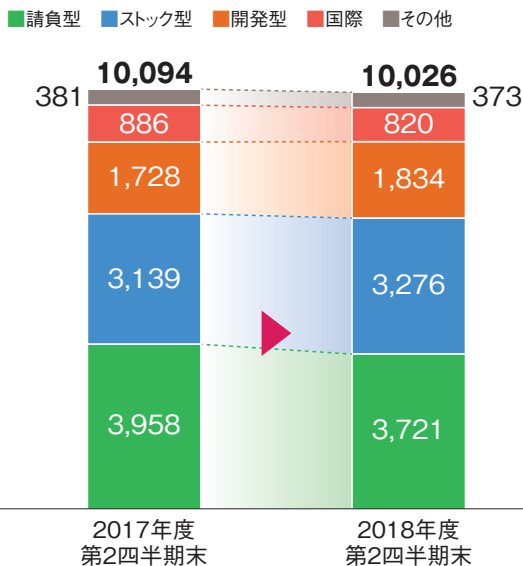
中間39円、期末40円の通期配当79円(前期比2円増配)を予定しております。



セグメント別の状況



事業別売上高 (億円)



戸建住宅事業 1,684億円 (△9.3%)

「グリーンファーストゼロ」等の中高級商品の販売戦略により1棟当たりの単価上昇は続くも、前期の受注減少の影響を受け、前年同期比9.3%の減収となりました。

賃貸住宅事業 2,037億円 (△3.1%)

都市部の3・4階建て商品や非住宅分野の受注が堅調に推移しましたが、大型物件増に伴う工程の長期化により前年同期比3.1%の減収となりました。

リフォーム事業 713億円 (+1.6%)

メンテナンス型リフォームから、提案型、省エネリノベーション等の環境型へのシフトが奏功し、前年同期比1.6%の増収となりました。

不動産フィー事業 2,562億円 (+5.1%)

管理室数の増加に加え、高水準な入居率が継続したことにより前年同期比5.1%の増収となりました。

分譲住宅事業 739億円 (△7.5%)

一次取得者層向けの土地仕入れを積極的に行いましたが、前年同期比7.5%の減収となりました。

マンション事業 503億円 (+74.6%)

タワー型マンション等、大型物件の引渡しが順調に推移し、大幅な増収となりました。

都市再開発事業 591億円 (△7.8%)

リートに対する売却規模の違いにより前年同期比7.8%の減収となりましたが、利益率の高い物件売却となり増益となりました。

国際ビジネス 820億円 (△7.4%)

米国での住宅販売事業は好調に推移。期後半に米国やオーストラリアにおける物件引渡しが集中するため、前年同期比7.4%の減収となりました。

その他 373億円 (△2.1%)

NEWS FLASH

ニュースフラッシュ

幸せを研究する「住生活研究所」発足

「住めば住むほど幸せ住まい」の提案へ

積水ハウスは、2018年8月、企業として日本初の幸せを研究する「住生活研究所」(所長 河崎由美子)を開所しました。

住生活研究所では、安全・安心・快適といった、長年こだわり続けてきたテーマに加え、「健康」・「家族のつながり」など「幸福感」の追求にも取り組みます。

積水ハウスは、今後迎える「人生100年時代」には、暮らしにおける「幸せ」のさらなる追求が重要であり、これからの住まいが提供する「幸せ」は、私らしさや生きがい等の「幸福感」を醸成し、家族やライフスタイルの変化に対応する、より高いレベルを目指すべきと考えます。そして、積水ハウスだからこそできる新たな住まいと、住まい手の居住価値を高める時間軸を意識した「住めば住むほど幸せ住まい」を研究・提案してまいります。

住めば住むほど幸せ住まい



積水ハウスが提案する「幸福感」を説明する所長の河崎

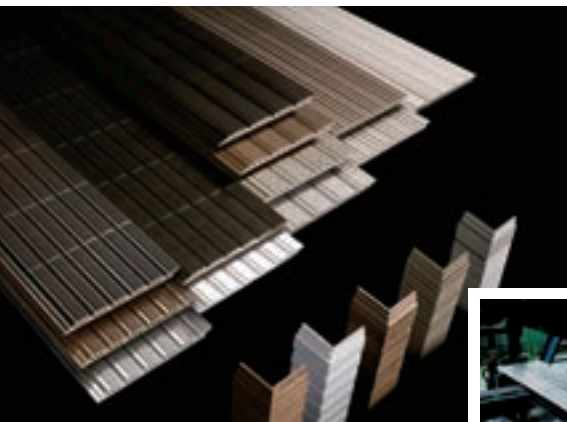
AI技術による品質検査システムを導入

大判の外壁パネルを最長2秒で高速検査

積水ハウスは、木造住宅シャーウッドのオリジナル陶版外壁「ベルバーン」を製造する静岡工場に、AI技術と画像処理による品質検査システムを導入しました。

焼き物ならではの自然な風合いを表現する「ベルバーン」の製造は、製品寸法や色調を一定に保つために、これまで凹みや膨れなどの外観仕上がりを、熟練技術者が目視で行っており、目視検査後の良品出来高を予測して、多めに生産する必要がありました。

今回導入した新システムは、外壁パネルを最長2秒で高速検査し、95%の精度で品質を判定します。また、リアルタイムで良品出来高を管理することで、在庫削減を行い品質向上とコストダウンにつなげてまいります。



オリジナル陶版外壁「ベルバーン」

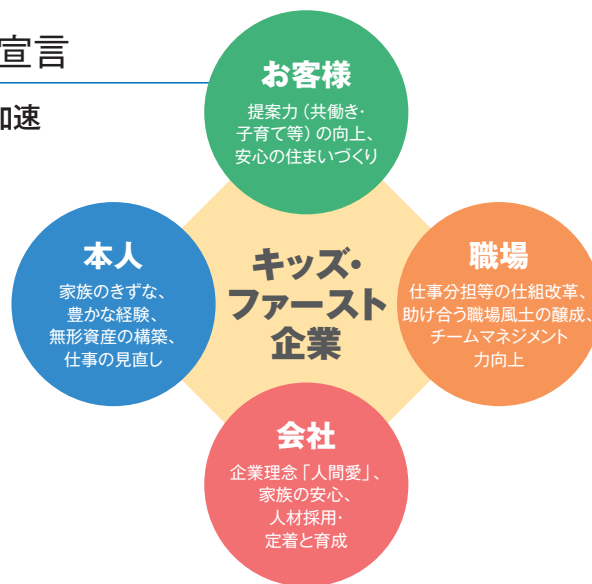


男性社員1ヵ月以上の育児休業完全取得を宣言

「キッズ・ファースト企業」として、ダイバーシティ推進を加速

積水ハウスは、全社をあげた仕事と育児・介護の両立支援の一環として、「男性社員1ヵ月以上の育児休業完全取得」を宣言し、子育てを応援する社会を先導します。

具体的には、3歳未満の子を持つ男性社員全員が子どもが3歳になるまでに1ヵ月以上の育児休業を取得し、最初の1ヵ月は有給とします。分割取得も可能とするなど、業務との調整を図りやすくするとともに、育児休業の取得計画立案に向けた研修も実施していきます。積水ハウスグループは「人間愛」を企業理念の根本哲学としており、全ての多様な人材が活躍できる働き方改革「わくわくドキドキ心躍る職場づくり」の取り組みを推進することで人間性豊かな住まいと環境の創造を進めてまいります。



開業25周年を迎えた「梅田スカイビル」

「空中庭園展望台」をリニューアル

積水ハウスが本社を置く「梅田スカイビル」(大阪市北区)が2018年3月に開業25周年を迎えました。地上40階・地下2階建てによる世界初の連結超高層建築として1993年に誕生した当ビルの「空中庭園展望台」は人気スポットとなり、年間来場者数が150万人を超える大阪のランドマークとして多くのお客様に親しまれてきました。

「空中庭園展望台」は、25周年を機に全フロアを改装し、7月にリニューアルオープン。「雲の上に広がる未知なる世界へ」をコンセプトに、景色と展示物を楽しむギャラリーをイメージし、生まれ変わりました。また、積水ハウスが運営する「絹谷幸二 天空美術館」では、梅田スカイビルをテーマとした記念特別展示「天空夢譚(てんくうむたん)-驚天動地の空中庭園-」を開催。絹谷幸二氏による当ビルの絵画・彫刻の大作を公開中です(12月17日まで)。

積水ハウスの医療・介護

With
PLATINA
(ウィズプラチナ)

積水ハウスの医療・介護・福祉事業

「With PLATINA (ウィズプラチナ)」

積水ハウスは、誰もが暮らしやすい安全・安心な「場」づくりという社会課題に応え、高齢者向け住宅・施設や病院等の建築設計分野における実績を築いてきました。1970年代の障がい者住宅研究に始まり、土地活用を含む専門性を発揮してきた医療・介護・福祉事業。その取り組みの最新事例をご紹介します。

積水ハウス
医療・介護・福祉での
5つの事業分野



事例
紹介

「プライムメゾン江古田の杜」

街全体のリビングとなるコミュニティの拠点「リブインラボ」

●食堂・ラウンジ ●レストラン ●絵本ライブラリー ●キッズルーム ●テラス

「リブインラボ」の他にも

●コンビニエンスストア ●学童クラブ ●認可保育所

学生向け賃貸マンション

介護付有料老人ホーム

子育て世帯向け
賃貸マンション

子育て世帯向け
賃貸マンション

サービス付き
高齢者向け住宅

2018年9月、東京都中野区の再開発計画「江古田の杜プロジェクト」がまちびらきを迎えます。「多世代により育まれる持続可能な地域」を目指す当プロジェクトの一区画を占めるのが、「プライムメゾン江古田の杜」です。子育て世帯向けの賃貸マンション、サービス付き高齢者向け住宅、学生向け賃貸マンションなど、複数の施設をバランスよく配置。街の中心には、多世代にわたる住民同士が交流し、地域との絆づくりの拠点として活用される「リブインラボ」が設けられています。



「福島県 ふたば医療センター附属病院」



利用用途に合わせて
間取りを変更できる病室

多目的医療用ヘリのための
ヘリポートを併設

東日本大震災被災地において、地域住民と復興事業従事者を医療面から支える「福島県 ふたば医療センター附属病院」が2018年4月に開院しました。重量鉄骨構造「フレキシブルβシステム」の採用により、医療施設の一日も早い再開を望む地域の要望に応え、着工から8ヵ月の短工期で完成。地域住民の交流の場として活用する施設計画や、医療従事者の負担を軽減する効率的な動線設計を行っています。

株主様見学会のご報告

株主の皆様へ積水ハウスの事業活動へのご理解を深めていただく機会として当社の研究開発拠点「総合住宅研究所」の見学会を実施いたしました。今回は実大住宅での断熱性能の研究を行う人工気象室などの研究開発現場を見学。また、理想の住まいづくりを支援する体験型施設「納得工房」や先進技術に触れることのできる「住まいの夢工場」など、安全、安心、快適な暮らしを支える積水ハウスの住まいづくりを様々な角度から体験いただきました。

多数の株主様にご参加いただきました当日の様子をご紹介します。



冬季を想定した実験を行う人工気象室



音響性能を測定する無響室



石井総合住宅研究所長による
プレゼンテーション



サッシの断熱性能の違いを体験



リビングにおける
収納の工夫を確認



夢を・・・支える、広げる、形にする。

住まいの夢工場

環境・CSR活動の年次報告書

「サステナビリティレポート2018」発行

積水ハウスは、環境・CSR活動の年次報告をまとめた「サステナビリティレポート2018」を6月に発行しました。本レポートでは、2017年に策定した長期ビジョン「サステナビリティビジョン2050」に加え、SDGs（国連が掲げる「持続可能な開発目標」）を踏まえた2030年目標を提示。充実した財務・非財務情報の発信により、ESG経営の取り組みの進捗状況をステークホルダーと共有します。

以下のURLより、本レポートをPDFデータでご覧いただけます。

<http://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/download/index.html>

お問い合わせ先：積水ハウス(株) CSR部 TEL：06-6440-3440



会社情報

会社概要

社 名 積水ハウス株式会社
設立年月日(実質上) 1960年8月1日
本 社 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番88号
(梅田スカイビル タワーイースト)
TEL.(06)6440-3111(代)
資 本 金 2,025億9,120万円

役員一覧 (2018年7月31日現在)

| | | | |
|------------|-------|--------|--------|
| 代表取締役会長 | 阿部 俊則 | 常務執行役員 | 佐藤 博之 |
| 代表取締役副会長 | 稲垣 士郎 | 常務執行役員 | 石田 建一 |
| 代表取締役社長 | 仲井 嘉浩 | 常務執行役員 | 内山 和哉 |
| 代表取締役副社長 | 内田 隆 | 常務執行役員 | 石井 徹 |
| 取 締 役 | 三枝 輝行 | 常務執行役員 | 皆川 修 |
| 取 締 役 | 涌井 史郎 | 常務執行役員 | 島 貴 利一 |
| 取 締 役 | 吉丸由紀子 | 常務執行役員 | 寺村 太志 |
| 取締役兼専務執行役員 | 勝呂 文康 | 常務執行役員 | 上條 英之 |
| 取締役兼専務執行役員 | 西田 勲平 | 執行役員 | 吉崎 道夫 |
| 取締役兼専務執行役員 | 堀内 容介 | 執行役員 | 小井 孝員 |
| 取締役兼専務執行役員 | 三浦 敏治 | 執行役員 | 雨宮 豊 |
| 常任監査役 | 岩田 晴幸 | 執行役員 | 石井 正義 |
| 常任監査役 | 山田 寿夫 | 執行役員 | 伊藤みどり |
| 監 査 役 | 篠原 祥哲 | 執行役員 | 新井富士夫 |
| 監 査 役 | 小林 敬 | 執行役員 | 工藤 正人 |
| 監 査 役 | 楨村 久子 | 執行役員 | 新田 幸生 |
| 監 査 役 | 鶴田 龍一 | 執行役員 | 豊田 治彦 |
| 常務執行役員 | 藤原 元彦 | 執行役員 | 上木 宏平 |
| 常務執行役員 | 芦田 登 | 執行役員 | 吉本 継蔵 |

主な事業所

- 東日本建築事業本部
〒151-8070
東京都渋谷区代々木二丁目1番1号
(新宿マインズタワー)
TEL.(03)5352-3220
- 西日本建築事業本部
〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番93号
(梅田スカイビル ガーデンシックス)
TEL.(06)6440-3456
- 東北営業本部 〒980-0014
仙台市青葉区本町二丁目15番1号
(ルナル仙台)
TEL.(022)265-1705
- 東京営業本部 〒151-8070
東京都渋谷区代々木二丁目1番1号
(新宿マインズタワー)
TEL.(03)5352-3200
- 神奈川営業本部 〒220-8120
横浜市西区みなとみらい二丁目
2番1号(横浜ランドマークタワー)
TEL.(045)650-7311
- 埼玉営業本部 〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町一丁目
7番5号(ソニックシティビル)
TEL.(048)647-3931
- 東関東営業本部 〒261-7119
千葉県美浜区中瀬二丁目6番1号
(WBG マリブイースト)
TEL.(043)350-1811
- 北関東営業本部 〒320-0811
宇都宮市大通り二丁目1番5号
(明治安田生命宇都宮大通りビル)
TEL.(028)636-6761
- 中部第一営業本部 〒450-6042
名古屋市中区村名駅一丁目1番4号
(JRセントラルタワーズ)
TEL.(052)533-1637
- 中部第二営業本部 〒422-8067
静岡市駿河区南町18番1号
(サウスボット静岡)
TEL.(054)284-1222
- 関西第一営業本部 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番93号
(梅田スカイビル ガーデンシックス)
TEL.(06)6440-3645
- 関西第二営業本部 〒604-8186
京都市中京区烏丸通御池下る
梅屋町358番地
(アーバネックス御池ビル西館)
TEL.(075)211-6201
- 中国四国営業本部 〒731-0113
広島市安佐南区西原五丁目16番6号
(ケイ・ティビル)
TEL.(082)871-7701
- 九州営業本部 〒812-0011
福岡市博多区博多駅前三丁目25番
21号(博多駅前ビジネスセンター)
TEL.(092)472-3211
- 国際事業部 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番88号
(梅田スカイビル タワーイースト)
TEL.(06)6440-3723
- 開発事業部 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番88号
(梅田スカイビル タワーイースト)
TEL.(06)6440-3565
- マンション事業本部 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番88号
(梅田スカイビル タワーイースト)
TEL.(06)6440-3561

IRカレンダー

2018年12月上旬 ●第3四半期決算発表
2019年 3月上旬 ●決算発表
4月下旬 ●BUSINESS REPORT
(第68期報告書)送付

株式情報

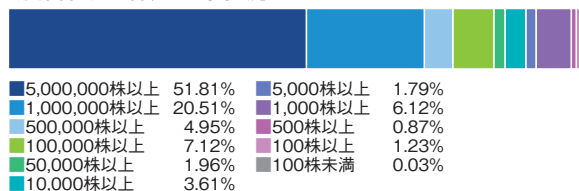
株式の状況 (2018年7月31日現在)

| | |
|------------|----------------|
| 発行可能株式総数 | 1,978,281,000株 |
| 発行済株式の総数 | 690,683,466株 |
| 単元株数 | 100株 |
| 株主数 | 97,834名 |
| 株主1人当たり持株数 | 7,060株 |

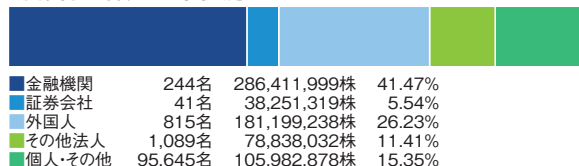
大株主(上位10名)

| 株主名 | 当社への出資状況 | |
|----------------------------|------------|-------|
| | 所有株式数(株) | 所有比率 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 56,156,700 | 8.13% |
| 積水化学工業株式会社 | 42,168,727 | 6.11% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 39,523,500 | 5.72% |
| 積水ハウス育資会 | 15,122,723 | 2.19% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 14,033,200 | 2.03% |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 13,624,515 | 1.97% |
| 第一生命保険株式会社 | 12,158,730 | 1.76% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7) | 10,649,900 | 1.54% |
| SMBC日興証券株式会社 | 10,479,400 | 1.52% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1) | 10,451,000 | 1.51% |

所有株数別株式分布状況



所有者別株式分布状況



株主メモ

| | |
|------------------------|---|
| 事業年度 | 2月1日から翌年1月31日まで |
| 定時株主総会 | 4月 |
| 基準日 | 期末配当金 1月31日 中間配当金 7月31日 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料) |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所・名古屋証券取引所 市場第1部 |

各種手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

少額投資非課税口座(NISA口座)における 配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は、特別口座から証券会社等へ振替いただくことで「株式数比例配分方式」をお選びいただくことが出来ます。NISA口座等に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

※本株主メモは2018年7月時点の情報をもとに作成しております。

おかげさまで
5周年
5th
anniversary

“住むコトのヒントが、ここにある” 住ムフムラボ

“生きるコトを、住むコトに”をテーマに、
積水ハウスの「情報発信」と「研究開発」の拠点として
大阪駅前のグランフロント大阪に2013年に開設。
今回は、その5周年記念の取り組みをご紹介します。

生きるコトを、住むコトに。
SUMUFUMULAB
【住ムフムラボ】

グランフロント大阪(北館) ナレッジキャピタル4階
JR 大阪駅、各線梅田駅より徒歩圏内
定休日 ▶ 水曜日・年末年始
開館時間 ▶ 10:00~19:00
WEB ▶ <http://www.sumufumulab.jp/>

**入館
無料**

探検して「見て、触れて、学ぶ」

住ムフムラボの様々な展示は、住まいと暮らしを多角的に学び研究参加もできることからご好評をいただいています。今回は、そんな情報満載の館内を探検できる**クイズラリー**を開催。さまざまなライフテーマを巡りながら、大人も子ども「見て、触れて、学ぶ」ゴールデンウィークをお楽しみいただきました。

| | | |
|--|--|--|
| <p>WALL 家族のものがたり</p>  <p>あなたの、家族の、 今と未来を考える</p> | <p>いごちBOX</p>  <p>日本ならではの 四季の移ろいを楽しむ</p> | <p>WALL らしく、インテリア</p>  <p>樹種によって異なる個性に 触れ、自然素材の魅力を実感</p> |
|--|--|--|

来館者の声

- ショールームとは違って自分のペースでじっくりと調べることができ、家や暮らしのヒントになる展示がたくさんある。
- アンケートへの協力が、今後の研究開発に活かされるのも嬉しい。
- 息子と一緒に、納得したりお互いの異なる考え方を確認したり、親子で会話しながら学べる点が気に入った。

今まで見えなかったことが見えてくる

対話のある家

純度100%の暗闇の住空間で様々なシーンを体験する、**ダイアログ・イン・ザ・ダーク「対話のある家」**。日常で忘れがちな視覚以外の豊かな感覚や家族の温かさ等の気付きに繋がる取り組みを、5年間で16,000人以上の方が体験されました。

SENSUI HOUSE × SUMUFUMULAB

5周年特別コンテンツ
Gardening in the dark
~いつかこの木の下でおしゃべりしよう~



5周年記念となる第21回のテーマは「ガーデニング」。“緑のある暮らし”がもたらす心地よさや自然の豊かさ、そこから生まれる温かな対話を再認識できるコンテンツです。暗闇で植えつけた果樹を持ち帰り育てていただく参加者と、果樹が実るころ、ここで再会できることを願っています。

体験者の声

- 壁や隔たりを作るのは自分の想像なのだ気付いた。
- 2人の娘が小学生になったので初めて家族4人で体験できたのも一番の思い出となった。
- 暗闇で植木を完成させて、土の感覚が戻ってきたのが嬉しかった。手の力を改めて実感し、生活を見直すことができたと思う。

住ムフムラボでは、これからも多くのステークホルダーとともに、展示はもちろん、ダイアログ・イン・ザ・ダークを始めとした様々な体験など、たくさんのお会いと発見を通して、これからの住むコトをともに考えてまいります。

積水ハウス株式会社

本社 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番88号
梅田スカイビル タワーイースト
TEL. (06) 6440-3111 (代)
<http://www.sekisuihouse.co.jp/>



MEMBER OF
Dow Jones Sustainability Indices
In Collaboration with RobecoSAM

積水ハウスはESG投資の代表的株式指標「Dow Jones Sustainability Indices (DJSI) World Index」に選定されました。